

今後の気象状況（高温等）に伴う農作物等の被害軽減対策について

平成31年3月6日
広島県農林水産局農業技術課

県内は、これまで暖冬傾向が続き、広島地方気象台が2月21日に発表した1か月予報によると、向こう1か月の平均気温は高い確率が70%と予想されています。

暖冬に伴い農作物の生育や病害虫の発生時期の前進化など、農作物への影響が懸念されます。最新の気象情報に注意しながら、対策に努めてください。

表 旬別の平均気温（アメダス地点）

月/旬 地点	1 / 上	1 / 中	1 / 下	2 / 上	2 / 中	2 / 下
広島	6.1(+0.5)	7.3(+1.9)	5.9(+1.2)	7.1(+1.9)	7.1(+0.9)	9.0(+2.4)
三次	2.2(+0.2)	3.5(+1.6)	2.3(+1.1)	3.8(+2.1)	3.8(+1.0)	5.4(+2.1)
福山	5.4(+0.7)	6.1(+1.7)	5.1(+1.3)	6.1(+2.0)	5.9(+0.8)	7.3(+1.8)

注：（ ）内は、平年差

【水稻】

降水量が少ない傾向であったことから、農業用水の供給に影響が生じる可能性がある場合には、事前に利水調整に関して地域内の話し合いを進め、不足が見込まれる場合には番水や用排水の反復利用等を行い、農業用水の有効活用に努める。

【麦類】

高温傾向により平年よりも生育が早期化している地域が多く、今後も平均気温が高い傾向で推移することが予想されることから、麦の生育状況を的確に把握し生育ステージや生育量に応じて追肥を行う等の対策を実施する。

【野菜】

(1) 高温傾向で推移することにより、軟弱徒長となることが懸念されることから、追肥量の節減等適正な肥培管理を図る。育苗中の密植を避ける等による軟弱徒長した不良苗の発生を防ぎ、健全苗の育成確保に努める。

(2) 病害虫の発生予察やほ場の観察による発生動向の把握に努める。コナジ

ラミ類、アザミウマ類、ハダニ類等の害虫は発生の早期化による大きな被害の発生が懸念されるので、早期発見、適期防除に努める。加えて、罹病した株の除去等は場の衛生管理に努める。

(3) 急激な冷え込みや凍霜害の懸念が予想される場合は、必要に応じ、トンネル、寒冷紗、不織布の被覆等により凍霜害の被害回避を図る。

【果樹】

(1) 開花の前進が見込まれる場合は、開花期から幼果期における降霜及び予期しない低温による凍霜害の発生が懸念されることから、霜害警報連絡体制を整備し、防霜ファンの稼働等により霜害の発生防止に努める。燃焼で降霜を防ぐ場合は、火災防止等の観点から周辺環境に十分配慮するとともに、固形燃料や灯油、軽油等ばい煙の発生の少ない燃料を使用する。

また、凍霜害の発生が懸念される場合は、摘蕾・摘花を控えるとともに、蕾や開花の時期に霜害を受けた場合は、残存花への人工受粉を行い、結実の確保に努める。幼果が霜害を受けた場合は、果実の状態を十分観察した上で摘果を実施する。

(2) 生育の前進による品種間の開花時期の不揃い、訪花昆虫の活動低下による受粉の不良等による結実不良が懸念される場合は、摘蕾・摘花を控えるとともに、適切な時期に人工受粉を行い、結実の確保に努める。

(3) 病虫害の早期発生が懸念されるため、果樹園での発生状況や病虫害発生予察情報等に留意し、適時適切な防除に努める。また、罹病部位の除去等は場の衛生管理に努める。

【花き】

露地花きでは、高温により発芽や生育が早まることにより、春期の晩霜害が発生しやすくなることから、耐寒性の弱い品目についてはトンネル、寒冷紗、不織布等による被覆を実施する。

また、病虫害の発生予察や場の観察による発生動向の把握に努めるとともに、特に過湿状態の施設では、病害（うどんこ病、灰色かび病等）の発生が増加するため、施設の換気と早期防除に努める。

さらに、アブラムシ、ハダニ類等の病虫害の発生が早まるため、早期発見、早期防除を徹底する。

【施設園芸】

(1) 気温の上昇に伴い、ハウス内が高温になると、作物の生育が早まり、軟弱徒長となりやすいことから、必要に応じてハウス内換気をする等、温度管理

を徹底するほか窒素肥料・かん水を控えめにし、作物の軟弱化を防ぐとともに予防的に薬剤の散布を実施する。なお、日中が晴天の場合は、夜間は放射冷却により気温がかなり低下することがあるため、ハウス内の温度確保に努める。

さらに、アブラムシ、ハダニ類等の病害虫の発生が早まるため、早期発見、早期防除を徹底する。

【畜産】

(1) 草地については、スプリングフラッシュ等による急激な草勢が見られることなど、飼料作物の収穫作業や放牧の実施に際しては、牧草等の生育状況を踏まえ、適切な作業に努める。特に、今後高温が続くことにより、例年より作業時期が早まる可能性があることを考慮し、準備を進める。

(2) 土壌条件等により高温及び晴天の影響が大きく現れる地域では、土壌の保水力を向上させるため土壌改良資材の投入等を行うとともに、今後、播種を行う場合には、耐干性の優れた草種・品種の選定に努める。

問合せ先

西部農業技術指導所	東広島市八本松町原 6869	電話	082-420-9661
東部農業技術指導所	福山市三吉町丁目 1-1	電話	084-921-1311(代)
北部農業技術指導所	三次市十日市東4丁目 6-1	電話	0824-63-5181(代)
県庁農業技術課	広島市中区基町 10-52	電話	082-513-3559